



玉水っ子

学校教育目標:ふるさと天水に誇りを持ち、たくましく生き抜く児童・生徒の育成

～ 考動力 共感力 やり抜く力 ～



前期を終えて

令和5年度前期が本日で終了しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、本校では各家庭における健康管理への協力もいただきながら、様々な教育活動をほとんど制限なく実施することができています。保護者の皆様や学校を支えてくださっている地域の方々に対しまして、感謝の気持ちでいっぱいです。



後期も本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。

★ 本日は子供さんが通知表を持ち帰ります。そこで、次の3点をお願いします。

- ① すぐに子供さんの通知表を見る。→ 保護者の方がすぐに見ることで、自分を大切に思ってくれていると感ずることが出来ます。
- ② 成長を認め、ほめる。→ 自信とやる気を持たせることにつながります。
- ③ 後期に勉強や活動の「これがんばる！」という気持ちをもてるような励ましや助言を伝える。→ 成長に向けての意欲が高まります。

教育の力を感じた出来事

9月の末のことです。地域の公民館で開催された「ふれあいサロン」において、玉水小学校の様子をお話する機会をいただきました。私は、玉水小学校の児童数の変化やタブレットPCを使った子供たちの学習の様子などを紹介しました。また、学校で取り組んでいる暗唱の様子として、「枕草子」を暗唱している子の動画もお見せしました。

その後、「教育の力」の大きさを改めて感じる出来事がありました。参加者の一人の方が「小学校時代に学校で学んだ歌を歌いましょう。」と呼びかけられました。次々に演奏されるハーモニカの伴奏に合わせ、参加されていた皆さんが楽しそうに歌い始められました。その際、ほとんどの方が配られた歌詞カードを見ておられませんでした。小学校卒業後60年以上たっても学んだ歌を覚えておられ、楽しそうに歌っておられる姿に感動しました。

子供たちの50年後、60年後は、きっと大きく変化していることだと思います。それでも今、小学校で学んでいることが、子供たち一人一人の心に根付き、豊かに生きることに役立っているならばいいなあと思いました。

みかん農家での学習

9月28日、4年生がみかん等の柑橘類を栽培しておられるみかん農家の方の畑に出向き、お仕事の様子を学習してきました。事前に質問事項をお伝えしていたので、その内容も踏まえた説明をしていただきました。説明の中で、デコポンが約50年前にできた品種であること、細川護熙さんが県知事時代に命名に関わったこと、よい品質の実がなるように摘果すること、夏の暑さや冬の寒さ、強風から木や実を守るための施設の工夫などを話してくださいました。



また、ミカン畑の段差があるところを石垣にしている理由も説明してくださいました。土砂が崩れるのを防ぐ以外に、通気性をよくするため、光を反射させてみかんによく光が当たるようにするためということでした。

子供たちはとても充実した学びができていました。



◇ご意見・ご感想などありましたら、下にご記入の上、学校へご提出ください。